

僕らの夢と無理な夢

権藤 (ごんどう) アイドル。

毒島 (ぶすじま) アイドル。

田畠 (でんばた) アイドル。

鎧沢 (あぶみさわ) プロデューサー。

ダンス練習中の権藤、毒島、田嶋。

権藤 1、2、3、4、1、2、3、4。よし！一旦休憩にしよう。

田嶋 はい。

毒島 いやー、しかし権藤。気合が入ってるな。

権藤 当たり前さ。俺たち三人、アイドルとして活動を始めて10年。節目である今年は、飛躍の年にしたいんだ。

田嶋 そうですね。そのためには来月のイベントで結果を出さなくては。毒島さんも真面目にダンス練習、やってもらわないと困りますよ？

毒島 わかってるさ田嶋。三人で今年こそ、オリコンチャート入りを目指そうぜ！

鎧沢がやってくる。

鎧沢 はいはい、ストップ。踊るのをすぐにやめなさい。

権藤 踊ってませんが、え？あなた、一体誰なんですか？

鎧沢 良く聞いてくれたわね。私はあなた達の新しいプロデューサーに就任した鎧沢よ。

毒島 新しいプロデューサー？

田嶋 鎧沢？

鎧沢 そう。あなた達がいつまで経っても売れないことに業を煮やした事務所の社長によって任命されたのがこの私よ。鎧沢よ。

田嶋 なんて圧が強い人だ・・・。

鎧沢 強いのが圧だけだとお思いかしら？・・・試してみてはどう？

権藤 何を？・・・何を試したらいいんだ？

鎧沢 さて、急に私がプロデューサーと言われても、あなた達は困るわね？

権藤 それは、まあ。

毒島 そうだなあ。

田嶋 ねえ。

鎧沢 私語はシヤラップ！

権藤 そっちが聞いたのに！

あなた達がどんなに困っても、人生ってままならないものなのね・・・。

権藤 ・・・・なんとかなりませんかね。

毒島 ちょっと待ってくれ・・・そもそもこの女は本当に新しいプロデューサーなのか？

権藤 え？あ。

毒島 今はこの女が自分でそう言ってるだけだ。俺の計算によればこの女が嘘を付いている可能性は50%。そこそこ違う可能性があると言うことだが今社長からラインが来たな。

こちらが新しいプロデューサーさんなんですな、よろしくお願いします。

権藤 ・・・・よろしくお願いします。

鎧沢 よろしくお願いしまーす！さて、私の身元が確認出来たところで、二つニュースがあるわ。一つは悪いニュース。そしてもう一つも悪いニュースよ。

権藤 どちらも悪いニュースなんですか？

鎧沢 ままならないものね。
田島 本当な何とかありませんかね？

鎧沢 まずは悪いニュース。あなた達には来週から週末は老人ホームでムード歌謡を歌ってもらうわ。

毒島 それアイドルの仕事じゃないでしょ。

鎧沢 まあ、はい・・・そうですけど。

榎藤 そんな不貞腐れます？不貞腐れたのはこっちですけど。

鎧沢 どーしてもってんなら断るのもアリよ？

毒島 じゃあ断るよなあ。

田島 はい。

鎧沢 はい、判りました。じゃあもう一つの悪いニュースにいくわね。悪いニュースはさっきの話を通るなら首よ。

榎藤 パワハラがえぐいよ！なぜ一瞬希望を持たせる？

鎧沢 心をね・・・折りにいったのよ。

榎藤 パワハラがえぐいよ！

鎧沢 聞いたわ。あなた達がオリコンチャートに入りたいって夢。でもあなた達のダンスではレベルが低くてアイドルとしては勝負にならないの。だからアイドルは諦めなさい。ムード歌謡を歌いなさい。あなた達はムード歌謡のレベルなのよ。

毒島 ムード歌謡を舐めすぎじゃないですか？

田島 確かに俺のデータでは温泉でムード歌謡を歌ってオリコンに入ったというデータは存在します。でも・・・、

榎藤 それは、なあ・・・。

鎧沢 大人になるのよ。あなた達も、私も、みんな少しづつ夢をあきらめて大人になるのよ。

毒島 さあ、ムード歌謡歌手になるのだ。

榎藤 ・・・榎藤。

榎藤 ・・・うーん・・・。

田島 そんなのだめだー！

榎藤 田島。

田島 確かに僕達のダンスは世間に通用しないかもしれない。アイドルは難しいかもしれない。でも俺はアイドルが・・・ダンスが好きだー！

榎藤 田島・・・。

毒島 田島・・・俺も、俺もダンスが好きだー！

毒島を見つめる三人。毒島は榎藤を見据え、先に促す。

榎藤 ・・・鎧沢さん、聞いての通りだ。確かに俺たちのダンスは通用しないかもしれない。

でも、俺たちは歌って踊るアイドルが好きだ。俺たちは、そんなアイドルになるって夢を手放す事はできない！

毒島 榎藤。

鎧沢 榎藤。

田島 権藤。

だから俺たちにアイドル、続けさせてください！お願いします！

毒島 お願いします！

田島 お願いします！

・・・・ふふふ・・・あっはっは！馬鹿な男達！・・・でも、私はその言葉が聞きたかった。

権藤 え？

私も忘れてた夢、思い出しちゃったみたいだ。

権藤 権藤さん・・・。

あなた達がアイドルの夢を追うというなら私も一つだけ条件があるわ。あなた達の夢に最高のアイドルを作るという私の夢も託させて頂戴。いいかしら！

(三人ともメガネを触る)・・・プロデューサー！

三人 三人ともメガネを触る)・・・さあ、一緒に目指すわよ！グラミー賞！

権藤達三人は希望に満ちた目で視線を交わす。頷きはしない。

三人で希望に満ちた目で鑑沢を見る。全員頷きはしない。

そのうち希望に満ちた目で視線を送り合う。頷きはしない。

暗転。